

「科学技術政策特論」からのお知らせ

～ 第15回講義は**宇宙開発利用としての日本版GPS開発**がテーマです～

履修予定の有無に関わらず、学部生、文系、さらに教員の方のご聴講も歓迎いたします

日時 7月26日(金) 5講 (16:30-18:00) 場所 工学研究院
オープンホール (B-201)

第15回

宇宙開発を取りまく環境と未来 ～準天頂衛星システム(日本版GPS)開発を 例にした国際協調と競争～

宇宙航空研究開発機構 広報部長

(前準天頂衛星「みちびき」プロジェクトマネージャ)

寺田 弘慈

寺田先生からのメッセージ

宇宙開発の分野では、国際的には、米国、欧州など先進国に加え、昨今、有人活動や測位衛星に国を挙げて取り組む中国や地球観測衛星に力を入れるインドなど新興国の台頭が顕著です。また、国内的にも宇宙基本法の整備やJAXA法の改正で新しい体制が整えられ、1月には宇宙基本計画も改訂され日本の宇宙開発を取り巻く環境は大きく変化しています。このような中で、宇宙基本計画上、一丁目一番地の施策として位置付けられた日本版GPSである準天頂衛星システムの開発の経緯と未来について、国際協調と国際競争の観点から皆さんと一緒に考えてみたいと思います。



提供: JAXA

寺田 弘慈 先生

1985年 東京大学工学部航空学科卒 宇宙開発事業団入社。
人工衛星開発本部技術試験衛星グループ開発部員、ボン派遣員
事務所長、文部科学省宇宙開発利用課宇宙部品調達対策室長、
ETS-VIIプロジェクトチーム主任開発部員、準天頂衛星システム
プロジェクトマネージャなどを経て現職。

目下、我が国の宇宙開発利用の意義を社会に幅広く知ってもらう
JAXA広報部長としてご活躍中。

